

リスクマネジメント研修 上級編

アンケート報告書

■研修実施日

東京会場：平成25年1月12日～13日

大阪会場：平成25年1月25日～26日

■参加人員総数65名

■アンケート回収62名

作成日：平成25年1月28日

子ども農山漁村交流プロジェクト研究会
法務・安全部門対策会議 事務局

東京 アンケート集計

研修実施日：平成25年1月12日～13日
参加人員：26名－アンケート回収26名

「リスクマネジメント概論」についての感想

考え方を理解できた

子プロ事業復活、受入経費助成事業が必要だと思う

何時も聞いている話だが何度も認識することが大切だと思った。
うちの協議会でもヒヤリハットの備蓄をしようと思う

時間のかつかつ感が逆にヤル気になれた

リスクマネジメントを学ぶ準備が整った

釜石の「避難の三原則」とても参考になりました

リスクマネジメントの必要性を認識しました

繰り返し同じ内容で起こっているということ

釜石の奇跡は参考になりました。「最善をつくす」これにつきます

基本編で学んだ復習ができた。当協議会で今一番重要なのは「情報の共有」だと思う

リスクマネジメントのためのベースとなる理論を知り意識を改めて高くするのに役立ちました

繰り返し聞くと良いと思った

ヒヤリハットの重要性がわかりました

なぜマニュアルが必要が改めて考えることができた

マニュアルが作成されているだけではなく如何にそのマニュアルをいかして事故を防ぐのか、どうやって受入れ関係者と共有して対応していくかを継続的に取り組む必要があると感じました

上級編では概論が必要か疑問ですが基本は大切と思いました

2

ワークショップ1 「食物アレルギー事故等の対応を検討する」についての感想

具体的なリストを出すことで、その対応方法が引き出せた

今まで食物アレルギーについては深く入ってなかったが自分たちでマニュアルを作ることで見えなかった部分が理解できた

理解が深まった

今後更に多種多様なアレルギー対応が求められると考える。事例をもとに講義して頂き参考になった

最も身近な例で参考になることが多かった

食物アレルギーが死に直結することの重大性を再確認した。トマニュアルの作成を急ぎます

いろいろな人のリスクの考え方を共有できとても勉強になった。先生のお立場から私たちが想像もしないような所を教えて頂きゾッとするような事が多かったです。しかし、人の命を預かっているので心しないといけません。プロとしての活動ができるようになっていきたい。

各チームの形式、内容ともにとってもユニークで参考になりました。食物だけでなくペット・ほこりなどについては初めて気づいた項目でした

私たちの団体では食物アレルギーについてイベントにおいて検討していませんでしたので(そば等知っているものについては別ですが)気をつけたいと思います

学校、宿のおかみさん、観光協会③、事前と前日、当日としっかり食物アレルギーの子供を知っておくこと

思いのほか色々なアレルギーがあることに驚きました

大変参考になりました。このまま活用したいです

食物アレルギーが事故が重要な事故につながる可能性と事前に準備する、対策を取ることでリスク管理ができることが学びました

各班ごとの発表を見聞きし、様々な対処法を知ることができた。まずは未然に防ぐための予防を徹底。やりすぎることではない。きちんとやる。

昨今のアレルギー事故もあり切迫感をもって考えられました

普段体験のみで食べ物については考えていなかったもので、いろいろ知ること考えることがあり良かった

生命に影響がでるアレルギーについて重大な責任を負っていると痛感しました

アレルギーの事件事例があり、より知ることができた

コンタミ?に対する情報が少なかったと思います

WSを通じて様々な意見が出てきて大変参考になりました。食物アレルギーにおいてどのような視点で対策が必要であるか理解できました。

当団体はまだマニュアルがないのでWSでマニュアル作りを経験できてよかったです。自分ひとりでは気づかない部分も発見できました。人の命にかかわることなのでアレルギー問題の十等星を常に意識するようにします

いろいろな事例を基に講義して頂きマニュアル作成までの考え方がわかってきました

義務づけられている表示8品目を初めて知った

1つの事例を学ぶことで多くを得ることができると思います。

「保険」についての感想

保険への理解が少しできた 勉強しないといけない

保険についても今加入しているのを再度見直すきっかけとなった

具体的にどこまで保険でカバーされるかわからなかった

改めて重要性を認識した。自分の中で一番理解が不足している分他であったため参考になった

保険に入っているからといって安心できるわけではない。特に年度更新の際の金額についてはしっかり確認しておこうと思った

自然体験の対応保険がなかなか見つからず困っていた。一度相談に伺いたいと思う

保険に関する重要ポイントを知ることができました。契約前にしっかり把握しなければいけない事が多くありました。約款についても家に帰って一度目を通したいと思いました

とても有意義なご説明でした。保険額1,000万円と3,000万円の御説明もとても参考になりました

保険の問題が一番の関心事でしたので参考金額設定等判断基準が示され、内容についても何が必要なのか、どれが適用されるのか少しながら理解できた様に思います

保険によっては補償されないことがあることについて講義を聞いて大変よかった

グレーゾーンを話すと保険がおり易いという豆知識。保険は万能じゃないということ。是非保険を作って欲しいです(自然体験&農業体験の保険が欲しい) 通年もしくは4~11月の半年

保険について何度も聞いているが普段の生活に密着していないので忘れがちです。再度学ぶことができ良かったです

基本編で学んだ復習ができ、更に具体的な保険の内容まで説明して頂き解り易かった

保険金が出ない場合や賠償保険の細かな種るいなど大変参考になりました

今まで知っていたことと知らなかったことが分り易くわかった。提案してもらった保険に入りたいと思いました

契約する際、継続する際のチェックポイントが貴重な話でした

保険の必要性、種類、加入時の確認すべき内容

余計な話が多い印象です。もっと保険が使われた事例が欲しい

保険の内容について理解が十分でないことを痛感しました。改めてよく調べて保険加入を検討したいと思います。

保険加入のチェックリストがわかりやすかったです。実際に保険会社のプロの方から詳しく説明していただいたので保険の種類や加入の際の注意点がわかりました(金額など)なかなか無い機会なので貴重なお話でした

体験を提供する側において留意しなければならないことがわかりました

保険の説明を一度も受けたことがなかったため全体的にとっても勉強になった

前回の講義とほぼ同内容の感じがしました。事例をふまえた内容を聞いたかったです

ワークショップ2-1 「農業体験中の事故等の対応を検討する」についての感想

2回目ということでスムーズにすすめられた

事例を基にマニュアル作成を行う事により、より危険部分が理解できた

シミュレーションできた。また、他グループの発表に気がついた

時間不足でした。我々の作業が遅かったのかもしれない。

時間確保し最後までやりとげたいと思いました

最初はリスクの整理に戸惑いましたが実際にやってみることによって自信ができました。もう少し時間があれば良かった

グループワークで皆さま意見も伺え考えの幅が広がった。発表でも参考になる対応がいっぱいあった

発想の仕方が良くわかりました。

お客様の受入れから時系列で考えるといろんな問題点が浮かび上がりました

実際のプログラムを見ながら改善作を考える方法はとても実践的でした

イベントを行う上で今まで見落とし、対策不足が数多く出てきましたので今後活用していきます

子供たちは大人の考えられない行動をする、この行動によって事故が起こること。1月12,13日講義、具体的に使用します。目配り心配り気配りですね

農家さんの慣れは結構怖いということ。保護者同伴のプログラムこそしっかりマネジメントを

大変参考になりました。このまま活用したいです

事故の対応、検討について協議することで事故に対する予防線をはる手法を学べました

実際、当協議会のメインが農作業体験が中心であり募集パンフや事前準備段階で事故を未然に防ぐことが重要

農業体験プログラムの立案はあまり体験がなかったので良い機会になりました

リスクの洗い出しがいっぱいで改めて考えることが多いと思った

気づきについて勉強できて大変よかった

プログラムを作成する際の危険予知が実際のプログラムに基づき考えることができた

時間が合わないなので時間配分を調整した方がいいと思います。WSは大変勉強になりました

事前準備、当日の対応について個々の場面を想定しながらリスク要因と対応をすべき事項を整理することができ、具体的に体験プログラムの作る際のポイントを理解することができました。

実際に起きた事例からWSを進めるという方法はとても参考になりました。もう少し時間があるか、各班の進行役がいればスムーズにできた

短時間で大変でしたがマニュアル作成までの作成手順がおおよそ分かった

たった1時間のプログラムでも表示すべきこと、気を配ることが多いと思った。特に参加基準の歳が低いとリスクが増えると感じた

リスクの拾い出しから安全管理基準への作成・構成方法の講義がより良いと思います

ワークショップ2-2 「海の事故等の対応を検討する」についての感想

海の体験の理解ができた

海のマニュアル作りはどれから手をつけていいかわからなかったがグループで話し合う事で何とか形あるものが出来た

WS2-1の後だったのがやり易かった

実際の子供たちとの接し方が参考になりました

2-1で実践したおかげでスムーズに話をまとめることができた。
他の班の発表も新たな発見につながった。大人数で計画することの大切さがわかった

実際の事故やリスクを想定しながら出来たのでとても参考になった

他の班の発表を聞いて付け足す点が増えて良かった

日頃から安全管理を勉強し実施していますが、他の班の話を聞くとまだまだ沢山のリスクを考えなければいけないと思いました。また、講師の話を再認識心して受入れを行っていきたいと思いました

講師の豊富なご経験がひしひしと伝わってくる内容でした。
お話もリズムカルでとても聞きやすい内容でした

イベントを行う上で今まで見落とし、対策不足が数多く出てきましたので今後活用していきます

インストラクター、指導者の皆さんも前日はしっかり体を休めておくこと。
海の中だけではなくフィールドをパトロールして怪我につながりかねないごみ・ガラスを拾っておく

僕の中では基本編・上級編の中で最も勉強になりました。
これを元に様々なプログラムでマニュアルに応用できると思います

海の体験がないのですが、チェックする項目の洗い出し、準備物など他の体験に活かしたいと思います

海がない地域ではあるが、農村体験と原理原則は同じ。全員で情報を共有することで知識が深まった

この夏に海のプログラムを予定しているので実際の状況を念頭に置きながら考えられました

海の体験はやっていないけれど考え方は同じなので参考になるポイントがいっぱいあると思いました

セーフティークを通じて安全を理解させるテクニックは目からウロコでした

海の体験がないため、危険の洗い出しに戸惑った

WSは大変勉強になりました。スピードも速くなりました。持ち帰り社内でも全員でやります

これまで海の体験プログラムをあまりやってこなかったため海における活動に特有の視点を知ることができた

2回目のWSだったので1回目よりはスムーズにできました。
発表の際は発表者のタイムキーパーをつけるべきだと思いました

今講義中3回目のWSだったのである程度余裕をもって作成していったので良かった

海の体験を受けたことがないためリスクがあまり思いつかなかった。
やはり、自分の体験したことがないと意識が薄いと改めて感じた

WSは1つで良いと思いました。海でも山でもリスクの洗い出しは同じです。
リスクの拾い出しから安全管理基準への作成・構成方法の講義がより良いと思います

「安全管理マニュアルの作りかた」についての感想

大変参考になりました

経験をふまえたお話参考になりました

順をおって細かく説明していただいたのでとても分かり易かった

具体的な方法が分かり良かった。視点が分かり易かった

チェックポイントを明確に指導していただき参考になりました

マニュアルは受入れを行いながら作っていくのだとわかりました。
私も気付いた所はどんどん書きとめてお客さんの安全のクオリティをあげていきたいと思いました。
とても良い内容でした

各班の枠の創り方がとても印象的。皆さん工夫しブラッシュアップし2日間の成果が見えます

自分たちの団体の為のマニュアル作りがなんとか作れそうです

山でも海でも危険要因。リスクコントロール(回避・防災・軽減)とリスクファイナンス。
ヒヤリハットも書いておく

やりすぎることはない、安全はどこにもない、ならばどうするか。
常に考えて行動する。
そしてマニュアルは更新する。マニュアルは断定する

安全管理マニュアルの作成に終わりが無いことが発見でした。
協議会でのマニュアル、受入のマニュアルの必要性を感じました

マニュアルを作った終わりではなく、常にチェック・精査する必要がある。
危険の元を見つける。気づくこと！

レジュメにない細かな点も口頭で説明して下さったのが良かったです

まとめ方がわかりました。わかりやすかったです。

危険を予測することで安全管理マニュアル作りにつながるがよくわかりました

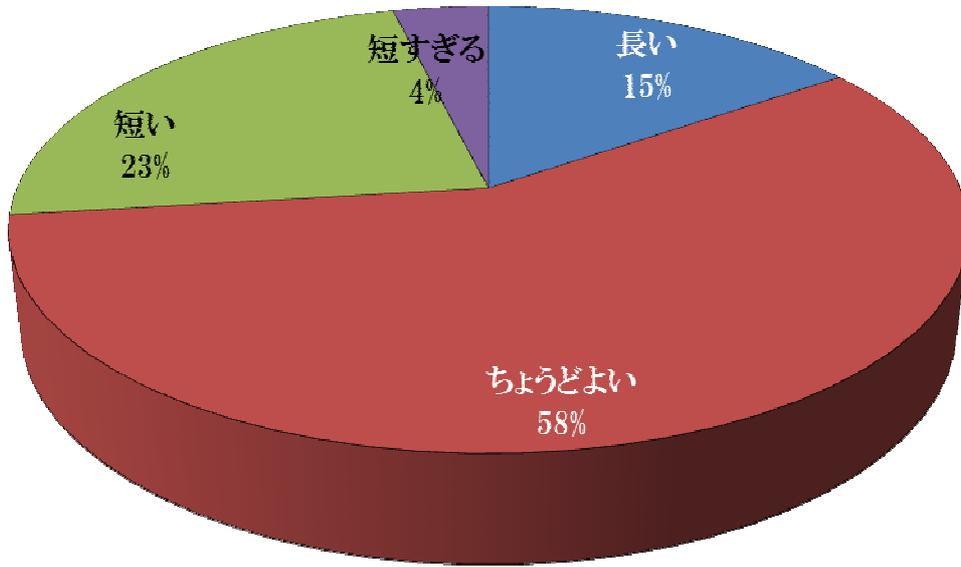
マニュアルに記載すべき要点が参考になった

マニュアルがどうあるべきものなのか、日々の経験・反省の積み重ねが重要であることを学びました

WSの総括と共に説明をして頂いたので理解しやすかったです

リスクの洗い出しは今回何度も行っただが「マニュアルにしろさい」となってしまうとうまくいかない。
作成ポイントをみながら自分でも作成できるようにしていきたい

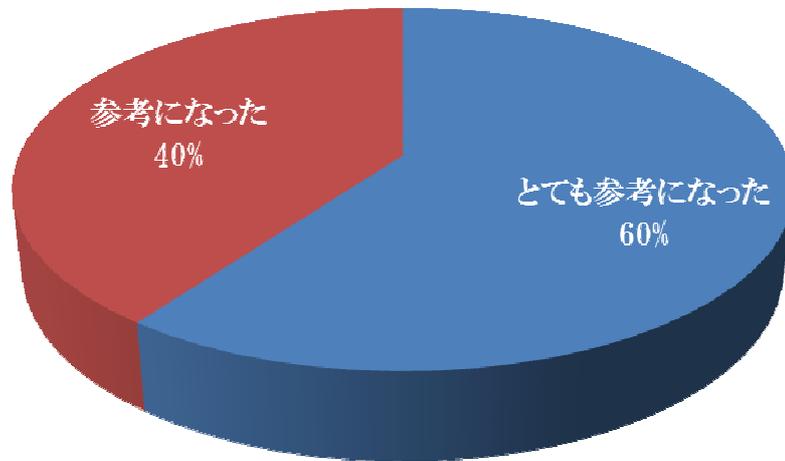
「研修時間」についての感想



理由

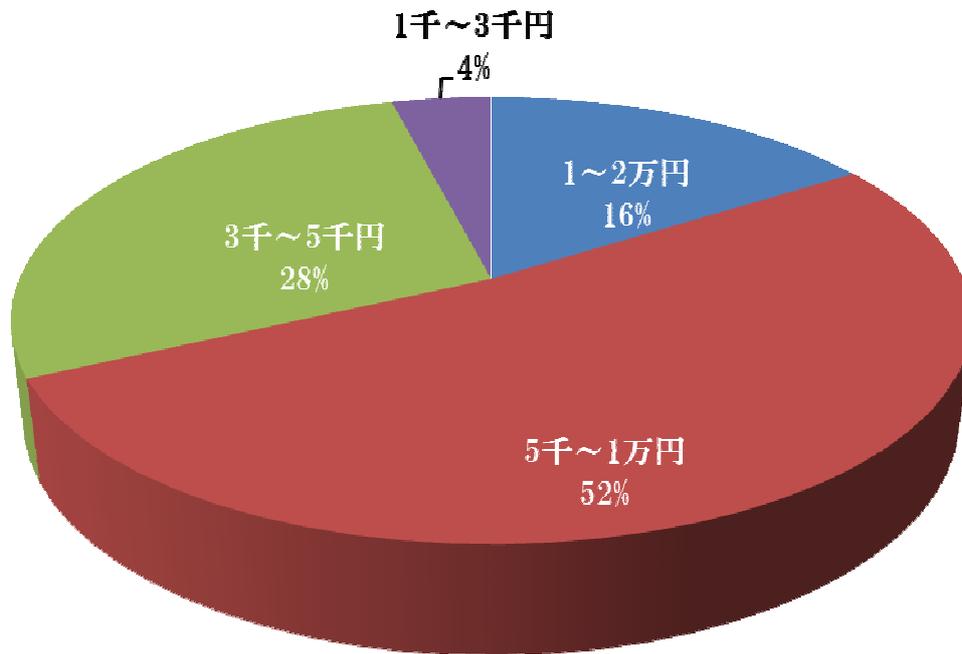
「短すぎる」と感じた理由	WSの時間が短い。説明が長すぎる人の時間を加えて欲しい
「短い」と感じた理由	WSで課題作成が間に合わなかった為
	あと1時間延ばすことは可能でしょうか？12日12:30集合 13日15:30解散などで・・・
	もう少し作業時間が欲しい
	各班の発表時間を決めて発表すれば時間配分が出来たのでは？
	タイムテーブルがおしていたので
「ちょうど良い」と感じた理由	次は山でも海でも体験してみたい
	これ以上短くすると内容がうすくなると思われる
	このぐらいの多さで十分、大切な事を分かっていかなければならないと思った
	内容が多岐にわたり充実していて参加しやすい日程で感謝しています
	今回はWSがたくさんあったので時間的によかった
	講義は決められた時間に豊かな内容で実施してほしいです(時間延長は無しが良いです)
「長い」と感じた理由	農業体験と海の事故検討はどちらが1つでも良かったと思う
	1日でお願いしたい
	休憩時間がほしい

「研修評価」についての感想



評価	評価理由
「とても参考」 になった	安全管理について必要性と理解を深めることができた。
	具体的事例、WS。
	講師の先生が他のお話が具体的で自分たちの活動にあてはめながら考えることができた。
	かなり具体的で全国の皆さんに知ってもらいたい内容でした。
	リスクマネジメントマニュアル作成の方法が理解できた。取りかかりも分かった。
	繰り返し同じ理由で事故は起こるとのこと。その理由を除けば安全度は増す。答えはもう決まりですね。
	非常に実践的で内容も実務に則したものが多く良かった。
	時間に対して内容が多かったような気がします。
	充実したWSでした。
	保険・マニュアルの必要性がわかった。
	知らない事例を知れた。ヒヤリハットの発見力が高まった。
	現場に活かせる内容が多く大変参考になりました。
「参考」 になった	自分たちでいろいろなリスクを出すことでイメージがわいた。
	基本編と1部重なっています。基本編を理解したうえでの上級編の内容にしてください。
	繰り返し「マニュアル作成のポイント」に沿ったWSをして頂いたので、かなり理解が深まった。
	WSが良かったです。できれば各発表をまとめた資料が後日頂きたい。

「参加費の負担目安」についての感想



今後どのような講義・プログラムを希望しますか

今回のようなWSを通してのリスクの洗い出し・分析という実習の形式は良かった。
研修のスタート時に参加者の状況把握(自己紹介・挙手アンケートなど)を持って頂くと良かった

農泊中・民泊中におけるリスク

今回と同様なかたちで

事例におおよその金額(保険金額)がわかると団体に帰った時にイメージを伝えやすい。
保険についての詳細

山そして海でも体験者の人になって指導者の力をみてみたいです

WS, マニュアル活用の方法

今の内容で十分です。新しい事件事例を知ることができる研修会にしてほしい

各協議会でのリスクマネジメント、取り組み事例の情報共有の場が定期的であれば良い。
それぞれの安全管理マニュアルの「どこが良いか」「どこを改善すれば」いいか協議できるプログラム

安全を守る視点と教育効果のより高いプログラム立案との両方を常に頭に据えながらプログラムを考える実習がしたい

各自の事例発表なども

受入れ家庭(全員)向けのプログラムを希望します

保険について、アレルギーの安全対策

ヒヤリハットの事例集が欲しい。できれば対策も

協議会の関係者にも初級編に参加してもらおうと思います

テーマ別(海・山etc)の研修会

1つの学校を受け入れる到着(入村式)から出発(閉村式)まで全ての要因を含んだ協議会全体の安全管理基準の作成、最低必要条件はあるのか?

11

その他

各プログラムごとにマニュアルを作成していく予定だが大変な作業であると改めて実感。
不安も大きい

大変良い機会を作っていただきありがとうございました。
各専門分野の講師の皆さんから沢山のヒントをいただきました。
地域に帰ってからする事が沢山ですが、しっかりやっていきたい。

初級編より格段に面白かった、参考になった

今回は東京海上ということで全国各地の方とお話できてよかった。
運営の方々の対応も非常に丁寧にして頂きありがとうございました。
また機会がありましたら参加させてください

皆さま本当にありがとうございました・・・3通

12日の最後に伺った自己紹介、とてもよかったです。
皆様から「グリーンツーリズム体験旅行は儲からない」とのご発言・・・これから協議会を作って本格的に
体験旅行を・・・と思っているところです。
「儲かる仕組み」を作りたいものです。
名簿の順は地理的北⇒南で地域分布がわかりやすいですが、できればアイウエオ順で作成頂きたかつ
たです。
自己紹介の際、名前・顔の一致をするのに手間取りました。

基本編の振り返りに加え更に一步踏み込んだ話をお聞きすることができた。
大変学びが多い研修だった。
同じプログラムを教育旅行を行っている学校の先生、あるいは旅行代理店担当者向けに行って欲しい。
(教育旅行の重要性、安全管理について、事例etc)教育旅行を行う(これから行おうとする)学校の担
当者は絶対に研修に参加すべき！

お弁当の手配など事務局の方には細やかな配慮を頂き誠にありがとうございました

大阪 アンケート集計

研修実施日：平成25年1月25日～26日
参加人員：39名－アンケート回収36名

「リスクマネジメント概論」についての感想

安全管理に携わる担当者としてリスクマネジメントにおける段階的な取り組みについて理解ができました。ハインリッヒの法則によりヒヤリハットの件数に自分自身の経験からもそうだなと強く感じました

リスクを正しく知ることが大切。そのためのリスクの洗い出しの必要。何が危険か予測し「気づく」ための意識付けを受入れ農家に持ってもらう為に事務局はわかりやすく伝えやすいマニュアル作成が大事だと感じました。ヒントを沢山いただきました。

リスクの定義付け、共通意識をはかる意味において有意義な講義でした

リスクの洗い出し、全員にヒヤリハットシートを提供し身近に感じた事を大小にかかわらず報告していただく。それを全員で共有し対策を討議しマニュアル作成まで仕上げます。

一番気になっていることはマニュアルを作った終わりであるというか、活動していないことだと思う。こんなことのないようしっかりと活用し、より良いものに改善する必要があると感じた。

リスクマネジメントの基本的な考え方の再確認とハインリッヒの法則によりヒヤリハットの重要性が改めてわかりました。

交流体験プログラムにおけるリスク回避の為に何をどうすれば良いかの方法が具体的に見えてきた。ハインリッヒの法則。

人を受け入れるにあたって、あらゆる角度から安全と考える必要性があることを痛感した。逆に受け入れる怖さを知った。楽しみながらの目的が薄れた気がした。

基本編を再度振り返ることができた。基本編を思い出すのにとっても良い時間でした。・・・同様の意見2名

WS形式だったのですぐわかり易くためになりました。あっという間の2日間でした。安全マニュアルすぐに着手します。

ハインリッヒの法則:ヒヤリハット300:軽傷29:重大事故1と念頭においた。リスクの洗い出しがマニュアルに必要な基本だと学びました。

リスクマネジメントの重要性を再認識しました。

リスクは必ず存在するものであり、いかに芽を摘み取るか。その方法を教えて頂いたので関係者全員で共有しながら検討していきたい。

協議会に属しているので一人が事故を起こしたら協議会組織の存続の問題に発展する。会員一人一人に意識を促す努力をしたい。

安全管理はヒヤリハットを大切に集積することで予防方法に役立つ事を改めて知れたこと。

慣れてくるとリスクを軽視しがちでした。しかし、もう一度考え直していきたいと思います。

リスクマネジメントが何のために必要なのかと研修会の度に痛感します。会員にどの様な形で伝えていくか?指導をするかが問題です。

先生のお話にあったとおり毎年見直しと研修は必要ということを再度確認いたしました。

マニュアルの必要性について受入れ側のスタッフ全員が自ら必要性を説明できるまでの意識が必要だと教えて頂きました。

リスクマネジメントの考え方が勉強できました。ヒヤリハットの重要性(効果)やリスクマネージャーの配慮など、協議会でも取り入れていきたいと思いました。

本研修会は基礎編受講者が対象だと思うので不要と思います。時間を他の講義に振り分けて欲しい。

2 - 1

ワークショップ1 「食物アレルギー事故等の対応を検討する」についての感想

WSのやり方がわからず戸惑いました

私たちの体験プログラムの中にも蕎麦打ち体験や田舎料理体験もあり食の体験の要望も多くなってきていることから本講義においてアレルギーの対応についても意識を高めていきたいと感じました。

WSについても皆で共有しながら考え合うことに意義があると思いました

食に取り組む大切さを知り対策が必要であること

事例があつての説明でとてもわかりやすかった

予見の設定があいまいでグループ各人の経歴が違うので気づきもあつたが、何を意図しているのか把握が難しい場合が多くみられたので予見を限定していただき良かった

健康調査シートを必ず提出して頂き看護師に見てもらい対応を考えてもらい全員で共有する。調査表は書式をより書き易いように工夫する。食物アレルギーの勉強会を開きます

法的な視点が良く理解できた。人間の行動について何となくわかったような気がする。WSによって共有できたことは非常に有意義だと思います

研修等で事故事例をたくさん知ることによってリスクの認識対策をとることができると思いますが、とにかく事故がおきないように事前の対策を取りたいと思います

ハインリッヒの法則が具体的にわかった。いかに多くの起こりえるリスクの洗い出しができるか？⇒常に先回りし声掛けを行いリスクを回避する。天候事変等のリスクには代替メニューをつくり無理無茶をしない。

アレルギーが死亡事故、そして代替食品の中身がわかり確認する必要があること。食品食材について前もった勉強が必要である事を痛感した

昨年の受入時にアレルギー事故につながりそうになった事例が有ったため、受講前から非常に興味があつた。WSを通して当協議会での対策に加えたい取り組みもあり、対策を充実させていきたい

ここまで考えたことがなかったので知らないことだらけで驚いた。かなり難しい・・・ここまでやれるか不安だなあ。早川先生の講義はとても心に響きます。詩もよかったです

事故は現場によって起こる。事故は無理と無知で起きる。心配り、子どもの行動特徴etc。目からウロコでした。食べさせないことが一番。マニュアルは手段であつて目標ではない。エピペンが子供が打つ。打てなくなった時が一番やばい。打てない時は教員・協議会が打てる。利用者に配慮した健康チェックシート。

死亡事故にもつながる可能性がありますので、食物アレルギーについては今後充分なる対応をする心構えで取り組みたいと思います。内容は分かり易く説明をして頂きました。

命にかかわるアレルギーとそうでないもの、特に落花生などは知らなかった。

エピペンというのが有ることも初めて知ったので実物も見てみたい。

WSの形を取ることでいろんな意見、見方が有ることもわかり皆さんの真剣さが知識を取りこもうとする力を感じた。

アレルギー食物の多さを再度認識しました。周囲に食物アレルギーの人がいなかったのだから深く考えていませんでした。食が命を育てているが、食が命を絶つ恐さを知りました

無理・無知、まさか声掛け、さきまわり。心ある対応。しっかり守ること「ちょっと怖くなりました」

WSで食物アレルギーに対してどういう対応をしたらよいかわかり大変良かった。一人一人の意見が出て一人(自分)では気づかないところまでわかったのだから良かった。もし子供たちにアレルギーが出たら対応していきたいと思います

ワークショップ1 「食物アレルギー事故等の対応を検討する」についての感想

改めて食物アレルギー対応が重要であり、かつ子供が楽しい時間を過ごせることを考えると、気配り心配りが必要であり会員に情報共有していくことが受入れの最低条件ではと思う

食物アレルギーについては、その子のアレルギー源を除くことだけを考えていましたが、他の子の持ってきたおやつやおかわりの部分にまで配慮しなければと気づきの機会を与えていただきました

具体的に自分たちで考えるという行動の大切さを体験でき非常に良かったです。個々で考えることの有効性も十分実感できました。

安全管理の重要性について大変わかりやすく学ぶことができました。内容も大変深いもので帰ってから復習したいと思いました。WSを協議会でも行い安全管理に繋げていきたいと思いました。安全管理をしっかりとやることでプログラムも変わるという言葉に感銘を受けました。

それぞれのアレルギーの対応方法や準備品等有効でした。

講師の話はとても聞き易くわかり易かったです。現在は飲食はさせる体験はやってはいないですが、今後の為に非常に役に立てたと思う。

日常生活でも子供がいるのでとても勉強になりました。「子供たちにはしっかり見守ってあげること」とどんな場面でもこの言葉を忘れず今後も取り組んでいきたいです

具体的な凡例をまじえての解説は説得力があり大変解り易かったです

自分たちで考えシミュレーションする事ができて良かった

非常にデリケートな内容でしたが大変参考になりました。時間が足りませんでした

法律の専門的な立場から話しを聞くことができ次の研修ではより時間を増してほしい

WSを受講してマニュアルを作ることも大切であるが、マニュアルを作る過程をメンバーで共有することがもっと大切だと感じました。

受講する前は少人数のWSでマニュアルの原案を作り、それを会に提示する予定でしたが、多くのメンバーにかかわってもらい、リスクを洗い出すことから始めたいと思います。

裁判での事例をあげて話してもらったのが分かり易かった

WSでマニュアルの作り方を具体的に教わった。

プランの中止基準の必要性も認識した。

経験、知識との照り合わせになり補足できた

自分の体験プログラムには直接的な関係はないと少し思っていたが、そんな事はなく非常にためになった。事件事例の解説等も良かった

とても分かり易かったです。具体的で解り易かった

具体的に自分たちで考えるという行動の大切さを体験でき非常に良かったです。

個々で考えることの有効性も十分実感できました作業をさせて頂きマニュアル作成の手順がよくわかり頭がスッキリしました。

3 - 1

「保険」についての感想

良くわかりましたがもう少し質問等で直接聞きたかった。

保険についてはまだまだ奥深いものだと感じました。
ただ保険に入っているから安心という思いは今度改めていこうと思いました。

リスクの対応について学ぶことができました。

迷いが解決！先様が入っておられても協議会として迷わず加入致します。

基礎編のふりかえりの部分があり導入部の取りつき易さが有った反面新たな面に向けたかなとは思いますが。

リスクに見合う保険：代理店にリスクの現状を詳細に伝え事故をカバーできる保険金額の設定の提案をもらい協議会で検討します。（見直す）

詳しく説明され良く理解できた。即使用えそうである。

いろいろな保険の種類や対応がわかりました。

傷害保険と賠償保険の違いが良く分かり傷害保険の適用する場面～急激、偶然、外来の意味、ヒューマンエラーは起こり易い。いかにヒヤリハットの洗い出しをするか

保険のカバーできる内容を確認して、その中での作業行動、注意事項等を取り入れていかなければ大惨事になる事等、改めて人任せ、保険会社任せの考えを替えるべきであることが分かった

当協議会が加入している保険の補償額が妥当かどうか、また他の協議会がどういった保険に加入しているかどうかを情報交換できて良かった。

保険に加入しているから大丈夫だと安心しきってはいけないとも思いました。

保険に入っているから大丈夫と安易に思っている自分を反省・・・事務局として今一度保険の見直し、勉強をしなくては。

ヒューマンエラーを減らすための取り組み方の基本理念が学べて良かった。

保険については日頃から注意して取り組んできましたが、今回改めて整理ができました。

保険は必ずかけなければいけないと考え掛けてはいますが、内容についてはあまり考えていなかったし、適用されるかどうかの分かれ目についても教えて頂きました。帰ってもう一度検討します。

保険の大切さはわかっていて、何をするにも加入の確認をしていましたが内容の把握をきちんとすべきと思った。

安全管理マニュアルの作成、スタッフのトレーニング、記録。保険の利用の仕方がわかりました。

何をどういふ風に聞けばいいのかわからなかったのですが重要な部分をこう聞けばいいと分かったので良かった。

何事も安全の為に保険は必要であり体験ごと年間の時も内容を良く理解してもらうことが大切と思う。

「保険に入っているから」と安易に考えることなく保険の適用などの具体的な事がお聞き出来て良かったと思います。

「保険」についての感想

保険の詳しい内容について学べ、チェックポイントも学べました

保険の適用範囲という基本的な知識が学習できていないことがわかり反省しきりだった

保険適用の事例について契約内容の確認、お客様への「保険かけていますから」という表現について持病などの確認など慎重に対応する必要性が学べました。

全くの無知でしたが、とてもわかりやすくユーモラスで良い講義でした。「保険も1つのリスクマネジメント」その通りだと思いました。保険は自分の身を守るためだと思いました

加入しているから安心ではなく、加入している保険についてちゃんと理解しておくことが分かりました。

保険証券の見本を見せて、どの部分を見れば良いのか(保険の種類・補償額等)示してもらおうと解り易くて良いのではないのでしょうか

定期的に、内容確認、講習会等があればいいなと思いました

保険の基本の講義を聞くことができ協議会で活用したい

ただ入っているだけでなく、保険の内容をしっかりと確認して活動内容に合った保険に加入することが必要だとわかりました。いざという時に「保険がおらない」という事がないよう保険会社にしっかりと確認したいと思います

保険のこまかなところまで教えてもらった

前回通りで更新をしていた保険を改めて見直しを必要だと感じた

付保、加入の大切さを再認識した。保険を使わないよう、事前防止への対応にもつながった。保険の適用など保険会社が判断することになるので、仕組みなど少々解り辛い感があった

保険やさんの注意点等が確認出来てよかった

とても分かり易かったです。保険に関して知識を深めることができました

約款等は読まなければいけないとは思いつつ大変そうで手つかずでしたが、ポイントを教えていただき助かりました。帰って早速チェックします。

ワークショップ2-1 「農業体験中の事故等の対応を検討する」についての感想

WSを完成させるのに時間不足。やり方のペーパーはあったが具体的な方法が良く分からなかった

農業体験については機械を使用したり外的要因が多く関係していくので多方面からリスクの洗い出しを行わないといけないと感じました。

田舎に住む私たちは安全と思っても都会の方々の知らない事は多いものと思いました。

問題点の洗い出し、その対策について取り組み方が実感できました

予見の設定が多く、短時間に予見を理解するのに時間がかかり十分な討議リスクの洗い出しが出来なかった。

設問が4つあり時間的に厳しかったが、だからどうするのかといった部分にまで踏み込めた討議が出来たのは良かった。

いわゆるP→D→C→Aサイクルを廻しましょうという意味ととらえました。

農具使用時の危険事例を体験者に実施で見せ安全策を伝える(危険な行為を明示する)

現状と安全面でやってはいけないことが良くわかった。

WSをする中でいろいろな具体例が出てわかりやすかった。

リスク、マニュアルの作り方がその体験メニューによって作り上げる事ができそうです。いや、できます。

かくれた危険の洗い出しを行い、又ヒヤリハットの事例等参考にして自分なりの対策を準備しておかなければならない事を感じた。

また、スタッフの共有認識が重要であることも分かった。

農業体験も数多く実施していることから、地域に持ち帰り事務局や受入れ家庭の方に伝えたい。身近な事例であったが今まで感じていなかったリスクなどにも気付けてよかった。

農業体験をやっているのでイメージがわきやすかったです。

楽しんでもらうことばかり考えていたけど、それはしっかりした安全に基づいた上のものだと感じました

安全に配慮したプログラムの作り方。

手順を確認(実地踏査)していくことで気づきがリスクをコントロールできる(リスクを1つずつ減らす)。

経験の中でわかっているつもりでいましたが、いろんな角度から新しい知識が備わったように思います。

私たちのグループで県道を通行止めにするという意見がありました。

考えがつかないところでした。

農業機械や軽トラックへの乗車は子供が喜ぶ体験であるが、絶対にしてはいけないことと自覚した。

事前に伝える。プログラムが無理のない様。持ってくるものの理由。

WSにしたことにより一人ではわからない(事故等)ことが色々でてきて勉強になりました。

体験中の全体管理、気配り目配りをきちんとしていくことが事故を防ぐことになる。事前に打ち合わせなど惜しまずすることが重要。

ワークショップ2-1 「農業体験中の事故等の対応を検討する」についての感想

WSで各班に分かれ参加者(受講者)で考えるだけでいろんな視点があることが分かり、やはり各活動の団体で全員が考えることが重要だと感じました。

それと、準備～当日～その役割、意識をしておくことの大切さを学びました。

農業体験に身近な体験で実際にやっているので大変勉強になった。

外的・内的・潜在・顕在に分類してリスクを洗い出す方法が最初わからなかったが、2日目のWSの実践でさらに理解できました。

刃物を扱う体験が多く、また蛇等の対策など教えられることや詳細なチェック項目等も今後活かしていきたい。

自分も今、個人的に農業をやっているため、今後は子供たちを受け入れる事を考えているので非常に実践的で良い勉強になり、なおかつマニュアル作りの面でも分かり易かった。

早速持ち帰りスタッフたちで共有していきたいです

具体的なモデルケースを示して頂きイメージができました。

写真や地図等があり、かなり具体的に考えることができ良かった。

解り易い題材でしたが時間が足りませんでした。

具体的な事例が多くあり参考にしたい。

体験の反省を受けて、次の活動をどう改善していくかの手法を学ぶことができ、とても勉強になりました。PDCAのサイクルをしっかりと回していくことが、安全管理を高め、お客様の満足度をあげ、リピーターにつながると感じました。

リスクを洗い出す具体的な作業を実感し、グループで安全マニュアルを箇条書きで完成出来て良かったです。

受講者は主に受入れ、受け手側でしたが、送り手側としての参加としても共通認識、情報の共有の大切さが実感できた。

(受け手、送り手とのマッチングがなければ成立しない)

具体例を用いて実際に作ることができて良かった。

WSにむけて用意された材料が素晴らしかったです。

また、WSで各グループの発表に対するコメントも大変解り易いものでした。

WS1と同じで、思考手順を丁寧に教えて頂き更に実施の際に役立つと思います。

比較的わかりやすい活動の中にも多くのリスクがある事に気づきました。農業体験は今後多く取り入れていきたい活動の1つですからとても参考になりました。

ワークショップ2-2 「海の事故等の対応を検討する」についての感想

非常にわかりやすいWSでマニュアル作りに自信がついた。

海や川などは危険が多い為詳細のリスクマニュアルが具体的に確認できて良かった。

マニュアル作成に少し実感がわきました。

何となく見えてきました。「リスクの洗い出し」それから先の解決法が漠然としていたのですが何となくわかったような気がします。2月の研修に活かしたいと思います。

海の活動はめったにしないので不安でしたが、講師の導きにより何とかやり遂げることができました。

海の体験がほとんど無い私はリスクの多さに驚きました。山地である私の田・畑・山林での活動に応用させて頂きます。

あまり考えたことはなかったが今後こういうフィールドが出た場合は必ず作成できると思う。

安全対策マニュアルの作り方の手順がわかりやすく知ることができました。

海の体験WSのリスクマニュアル作りを始めさせていただき、自分の体験した事がないものまで、ある程度できそうな感じがしました。

事細かなマニュアル作りを自分の体験メニューもできそうです。

あらゆる角度からリスクをチェックし洗い出しそれに対する対応策が安全マニュアルである事を知りマニュアル作りの要領がわかった。大変良い研修会でした。

海の事故はなかなかイメージできなかったが、基本的な部分は山での活動も同じだと思いました。山の活動でも川での生物観察などがあり、水に対する危険性は大いに感じています。ですから、このWSを参考にマニュアルを検討したいと思います。

私たちは川、湖での体験をしているのですごくためになった。

危険と隣り合わせだとヒシヒシと感じたが安全を意識することで回避できることも多いんだとも。

現地本部とスタッフの連携が大切である。

海の対応は一番大変な体験になりますので、他に応用できますので良かったと思います。

考えの及ばない知識の足りない部分がありました。海でも山でも対応できる考え方が身につきそうです。

海には遠い地区であるが山でも海でも共通する注意点があつた。この気づきを忘れないようにします。

2日間のマニュアルを協議会で話し合います。

各班の意見が聞けたことは大変良かった。6班だけでは見えてこないところまで見えたのが良かった。

海の事故は多くあると思うし、それをどのような形で防ぐか等、情報の共有をしていきたいと思う。

海の活動についても管理マニュアルを作成できるように自分なりに思いました。活動ができるように考えていきたいと思います。

ワークショップ2-2 「海の事故等の対応を検討する」についての感想

1つのテーマでグループを考え、更に各班の発表とポイントのフォローと、行き届いた研修でした。この内容を活用して検証会を開催していきます。

リスクの洗い出しとマニュアル作りの実践で研修会を統括できた。特にリスクの洗い出しの考え方の整理ができて良かった。

全講義の集大成のイメージで良くわかりました。全体的に講師の方々の熱意が感じられて大変素晴らしかったです。帰ってすぐマニュアルの作成に取り掛かります。

本当にわかりやすく、まさに誰が聞いてもわかる講義でした。

大変実践的で解り易かったです。シミュレーションとはいえ、1つの形を完成させたことで実際のものを作る時のイメージができました。

前日の講義を踏まえ、より具体的に行うことができて良かった。

2日目なのでうまく出来ました。

当市でも海の体験があるのですぐにでも活用したい。

マニュアルのひな型が欲しいと思って参加しましたが、「マニュアルをどう作ったらいいか」を教えていただき「作り方」とその過程、共有することが大切だとわかりました。

危険をリカバリーしてプログラム作りを実行していかなければ、いつまでたっても克服できないことがわかりました。

海の体験はありませんが、このWSで他のプログラムにも当てはまることが実感できました。安全マニュアル作りは難しい事だと思っていましたが、今回の研修でやれば出来るということがわかりました。

海体験の経験値が少なかったなので、ためになった。

マニュアル作りの注意点など、より具体的な話が聞けて良かった。

経験に裏付けされた話、解り易かったです。説得性がありました。

マニュアルは誰にでもわかりやすくするという事と、回避の手段と事故後の対応が大事だと理解できました。

「安全管理マニュアルの作りかた」についての感想

いろいろな方法を学んだので実際に出来る様に思えた。後は実際やってみるしかない

判断の基準について明確に事前に示し、それに基づき行動ができれば事故等が発生した時も落ち着いて対応できると思った。そのためには関係者全員が意識を持ち行動することが大切と感じました。

必ず作成します。

自分の所でもできそうな気がしています。

安全マニュアルの作成の仕方は理解できた。

解り易く体験でき解説もわかりやすかったです。

実体験をやりながらマニュアル作りをやれば、より精度の高いものができること確認致しました。

全員(スタッフ)でリスクを洗い出す、そして対策を書きだす。マニュアル作りの流れ方法が学べた。帰って自分たちの業務に合ったマニュアル作りを行います。

短い時間であってもWSでマニュアルの基本部分を考えることができました。
持ち帰って同じ作業をやってみたいと思います。

「マニュアル」というとすごく難しく考えていましたが、実体的に提示してもらったことで、何とかやれそうな気がしてきました。頑張ります。

リスクの書き出し、誰が見てもわかるようにヒヤリハット気がかりとプログラムの後の毎回見直し、マニュアルに変化を盛り込む事が大切である気づき。

良くわかりました。

作り方がわかりました。山での活動が多いので、その対応のためにマニュアル作りを行います。
今年、川での活動を行います(カヌー体験)のでそれに役立てます。

安全対策マニュアルが作れそうです。作ります。

活動の前中後とわけて分けて作れるようで良かったです。

対応(マニュアル)の作成の仕方がわかり、より良いものを作りたいと感じました。

本日の研修でマニュアル作りをしていくことができると考えています。作り上げていきたいし、体験者全員に安心感を与えられる心がけが重要だと思います。

2日間の研修を終えて、自分で作成し仲間と相談してスタッフ全員で共有していきたいと思っています。
ガイドラインの設定部分を特に考えていきたいと思っています。

非常に具体的に実践しながら研修できて大変参考になりました。
県内の活動の団体へも周知したいし活用した研修会を開催させていただきます。

リスクに対して7班が別々のマニュアルを作る必要があるほどマニュアルを作るにあたり考えることの多さを実感できた。

作り方が具体的でわかりやすかった。

誰もがいろんな視点で現地を見て考えれば出来るものだと思います。実に解り易かったです。

大変実践的で解り易かったです。

シミュレーションとはいえ、1つの形を完成させたことで実際のものを作る時のイメージができました。

「安全管理マニュアルの作りかた」についての感想

実際に自分たちで作ってみて足りない部分等が良く分かった。

手法がなんとなく確認できました。

是非、当協議会でも形にしていきたい。

実際にマニュアルの一部を作成してみて、具体的な方法がよくわかりました。
今回の研修を受けて、まずは会で、そのあと地域へリスクマネジメントの意識、安全管理マニュアルを必ず広めていきます。

難しく考えていたマニュアルのハードルを下げてもらった。
リスクの洗い出し⇒その解決をするためにはどうするのかを文章化すること。

自分たちで作れるという実感。

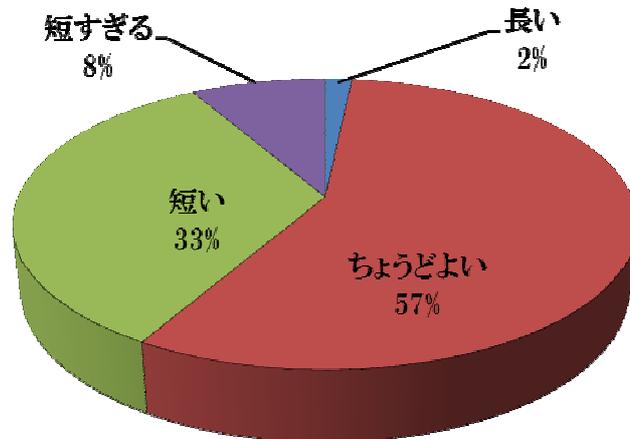
シンプル&ベスト 解り易いことが⇒使えるもの。

今回の統括として解り易くて良かったです。

具体的ポイントが盛り込まれていて大変わかりやすかったです。

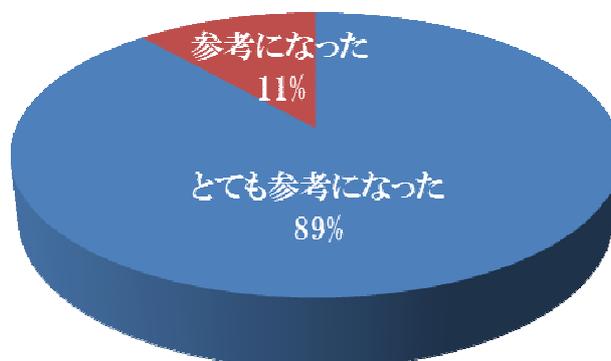
解りやすくすることが大変そうです。

「研修時間」について



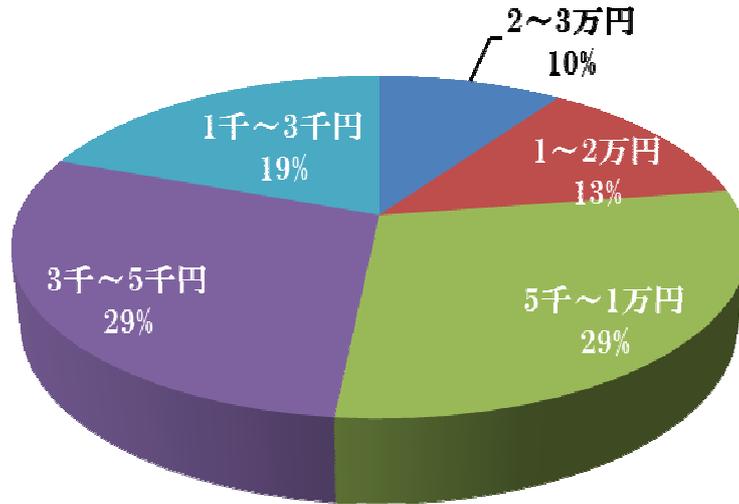
「短すぎる」と感じた理由	安全管理マニュアルについて含めたディスカッション会が2日目の昼から欲しかった。
	もう少しWSの時間が欲しかったです。講師の方の話がもっと聞きたいです
「短い」と感じた理由	WSが完成出来る様な説明と時間配分が欲しい。
	内容が多方面にわたるので少し短いように感じましたが、後は自らが学ぶべきと思いました。
	課題の多さに比して時間が短いように思います。
	WSが尻切れになってしまうことが多く中途半端な感じが残る
	まとめの説明が短かったように感じた
	もう少し聞いて参考にしたい
	完成までいけたのは1講義のみだった
	全体的に時間を増やして欲しい
WSの時間が短くなってしまふ	
「ちょうど良い」と感じた理由	集中して受講するにはベスト！！
	集中できた
	WSが非常に勉強になりました
	眠気がさず時間もなく集中できる時間割であった
	時間的には丁度良いのですがWSの時間がぎりぎりでした
	中身の濃い、集中できる時間の取り方だと思います
	わかりやすい研修で1日の研修も長く感じなかった
	WSにかかる時間が短かった。自分のスキルの問題もありますが
	1日半というところが良い
	時間のわりには、とても内容の濃い研修で大満足です！
概要⇒作れるまで、が分かり易く満足	
1つの講義時間に、もう少し時間の余裕が欲しい	
「長い」と感じた理由	休憩が短い

「研修評価」について



評価	研修講義が参考になった理由
「とても参考」 になった	講師先生方の説明がわかりやすく、またユニークであったので身になりました
	5・6月に修学旅行初受入れに向けてのマニュアル作りに大変参考になりました。 2月に会員向けの研修を行います。 基本編、上級編で勉強した我々が講師となって自分の協議会にあった内容で伝えたいと思います。 即、実践に使えと感じた。
	WSで自分たちで考えることができた。WSは身に付き易い・・・同様の意見2名
	初めてのリスクマネジメント作りに参加させていただき、全ての講義が先生達のおかげでわかりやすく説明していただき有難かったです。
	これから本格的なマニュアル作りに入るため大いに参考になった。
	より身近な事例が検討でき参考になりました。また自分自身のリスクマネジメントに対する考えも深まりました。
	あまりに広くて深く理解できたかわからないが、目からウロコは出たと思う。
	一人々の見方が違うので意見の違いで話し合いをした部分。 講師の先生の深い知識を全て出して頂いた。
	専門分野からの講師でありがたいことでした。
	参加する度に参考になっています。
	様々な体験活動にボランティアとして参加していますが、ボランティアスタッフとしてもリスクマネジメントについて知っておかなければならないことを研修させていただきました。
	帰ってマニュアル作りができる自信ができました。
	講師の方々、人を褒める力・言葉、今後の自分に必要な事だと思いました。
	多くの参加者の多様な視点が共有できたこと(新しい視点が身についた)。
	内容及び作業プロセスが十分理解できたと思います。あとは実践だけ。
「参考」 になった	自分たちに足りない事が明確になった。
	送り手側としても、理解しなければならなかったためだったから(共有)。
	安全マニュアル作成の方向性を知ることができた。 マニュアルができる自信がついた。・・・同様の意見5名

「参加費の負担目安」について



研修費用の目安	理由
1万~2万円	1日1万円くらいで実施していただくと参加しやすいです
3千~5千円	自費で参加するにはこのくらいでないと難しい
千円~3千円	開催場所にもよります

費用の目安は、研修費だけでなく、総合的な費用としての問いかけがふさわしい

交通費+講習会費+宿泊費など、総合的な支出額による判断が必要。

今後どのような講義・プログラムを希望しますか

近くでないが無理ですが・・・

協議会のメンバーが参加できるような、それを目的とした研修会があれば参加させたい。

意識付けをもっとつける為に具体的な事例に基づく講義があれば良いと思いました。

WS形式での研修会。

今回のようなプログラム内容で良い。繰り返し行うことで身につけたい・・・同様の意見が3名

受入れ協議会の安全管理マニュアルを検証するようなプログラムがあればよいかと思いました。今後マニュアル作成に取り組もうとしています、完成後には色々な人の意見等を聞き改善に繋げていきたいと考えます。

実際にマニュアルを作った場合、その内容をチェックしてほしい。保険にもしかり。

最近山歩きや山遊びがブームなので、それについてのリスクマネジメントを教えてください。

学校の受入れ専門の内容が可能であれば希望します(特に小・中学校)。

今回のやり方で良いと思います。

関西で食物アレルギーでなくアレルギー全ての講義を受けたい。

時間が取れる様であれば他の協議会の安全管理等の話をしてもらおうことが。

リスクマネジメントについては繰り返しの見直し、研修が必要なので同じ内容でも受講できれば参加したいと思えます

今回のように時間をかけてじっくりしっかりしたものを期待します。なかなか機会がないので

WSの設定を変えていく程度で良いと思います。

今回の研修の内容をまた受けてたいと思える大変良いプログラム内容でした。実地踏査を研修でやってみたいと思えました⇒その後WS。

事例研究

自分のフィールドが主に海なので海の講座(山・川)の体験の講座。

あまり多くの人数になると難しいと思うのですが、会場全体がコミュニケーションのとれるような仕掛けがあると良い。

現場に合わせた実地的なものもあればと思います。

写真ではなく、現地での実習もありかなと思います。

講義(基礎編)のあと、WS(上級編)という流れがとても良かったので、2日間で、このような流れで学べると会のメンバーや地域の体験活動の事務局にも受講をすすめたいと思います。「リスクマネジメントの必要性」は何回目の研修会でも希望します

繰り返し受講することが良いと思いました

今回のようなもの+事故例を多く共有するようなものがあれば・・・

ひとつの事例、テーマをもう少し時間をかけて詰めていく手法を検討してみるのもよいのではないのでしょうか。あれもこれもという事務局の思いは理解できますが・・・

まだ足りないので、もう一度同じレベルの講義をして欲しい。

その他

今回の参加者のネットワークを作り、それぞれの問題点等現実的な意見公開の出来る場ネット、WEB、メーリングリストなどを作って欲しい。

地元を持ち帰り活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

リスクマネージャについて詳しく知りたいです。

応用編の研修開催を希望します。

できるだけたくさんの方が受講できるようにお願いします。

ありがとうございました。大変勉強になりました。本当に勉強になりました。・・・同様の内容7名

講師の皆さん、それぞれにとっても分かり易くためになる講義でした。
この研修を無駄にしないよう帰ってマニュアル作りを皆でとりくんでいきます。

安全管理マニュアルと基本を実践に基づいた講座がほしい。

この研修を受けたグループとそうでないグループでは、とても差ができると思います。

協議会のレベルを上げるようにしたいと思います。これからも宜しくお願いします。

参加して気付かなかったことに改めて気づき感謝しています。
どの様な形で役に立てていくことが出来るか自分なりに考えていきたいと思っています。

今回の研修を参考に平成25年度の活動に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

大変参考なる研修会を開催頂きありがとうございました。

帰ったらマニュアル作りを始めます。

定期的にスキルアップできる研修会をお願いします。抽象的ですが

基礎編、上級編を通してとても勉強になりました。リスクマネジメントは「1度受講したら終わり」「会で1人受講したらOK」というものではないので、毎年繰り返し研修を実施してください。
初めて受講する人向け、既に何回か受講した人向けの2通りで実施してください。
テーマが「海」「食」「農業体験」と自分の活動と違っていたので、どこまで成果を持って帰れるか少し不安でしたが、内容ではなく「手法」を学ぶ事が出来とても有意義でした。
講師の方々、事務局の皆さまありがとうございました。

今回の研修で今までやっていることがずれていないかの確認、また何が足りないのかの補足ができた。
敬遠していた水活動を克服したいです。ありがとうございました。

安全管理者が現場へ戻り構成メンバー対象に研修会等実施する時のツールの1つとして、リスク当に加わるDVD(発生事例・ヒヤリハット事例)を活用し視覚に訴える方法も有効と考えます。(見える化)。
研修用DVDの作成を検討してみてもどうでしょうか。
全てにおいて、大変質の高い研修会だったと思います。ありがとうございました。

楽しかったです。

大阪 アンケート原本

研修実施日：平成25年1月25日～26日
参加人員：39名－アンケート回収36名

東京 アンケート原本

研修実施日：平成25年1月12日～13日
参加人員：26名－アンケート回収26名